

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	加藤 幹郎	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9835		事務事業名称	污水管渠整備事業						短縮コード	経常	9835	臨時	
予算区分	会計	62	公共下水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	01	公共下水道施設拡張費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和42年度より公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全を図るため、計画的・効率的に区域内の污水处理施設の改善と衛生的な市街地整備を行っている。また、老朽化した下水道施設の改良工事を実施していく。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして						
公共下水道の整備により、生活環境の改善と快適な生活環境の確保を図る。又、今後は未整備地区の早期解消と老朽化した污水管渠の改良工事などに向けて事務事業を実施していく。						大項目（節）	04	第4節下水道						
						中 項 目	01	1. 下水道						
						小 項 目	02	(2)汚水排水の整備						
						細 項 目	01	①汚水施設の整備拡充						
					実施計画の計画事業	5084	污水管渠整備事業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	公共下水道計画区域内の生活排水，工場排水。 河川，沼（印旛放水路等）。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 污水管渠築造工事（污水本管及びマンホールの整備）。 汚水柵設置工事（公共汚水柵の設置）。							
	※平成24年度に計画していること： 污水管渠築造工事（污水本管及びマンホールの整備）。 汚水柵設置工事（公共汚水柵の設置）。							
意図 （何を狙っているのか）	汚水を衛生的に処理する。 水質の保全。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	公共下水道計画区域内の生活排水	m	632.35	277.2	308	540	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	污水管渠整備延長	m	632.35	277.2	308	540	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	污水管渠整備延長	m	632.35	277.2	308	540	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9835	事務事業名称	污水管渠整備事業			所属名	建設課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	18, 680	10, 500	10, 080		
		県	千円					
		地方債	千円	32, 200	17, 000	15, 400		
		一般財源	千円	9, 672	5, 373	16, 613	45, 221	
		その他	千円	2, 464	6, 072	1, 008	2, 380	
	主な事業費の内訳			委託料2件284千円 工事費8件62, 664千円 補償費1件68千円	工事費4件38, 945千円	工事費6件43, 101千円	工事費3件47, 601千円	
人件費 (B)			千円	13, 149. 8	13, 002	7, 437. 1	7, 437. 1	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	76, 165. 8	51, 947	50, 538. 1	55, 038. 1	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		汚水施設整備事業は汚水排水の整備として、上位の施策に結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		未整備地区の解消に併せて、市街化調整区域の人口密集地に於いても整備を実施して行く必要がある。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		下水道法により、事業の実施は市が行うものと義務づけられている。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の「対象」・「意図」で汚水排徐の整備に結びついている。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☒ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		設計、積算業務の効率化を図るため、設計業務を広げていくことにより、工事発注の効率化を図る。					
		☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用							
		☒ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
		☐ 上記以外の方法			2		実施主体 (所管部署)		
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		公共下水道の未整備地区の整備促進と、供用開始区域内の遅延区域（現況が畑・駐車場等の未利用地）の整備に併せて市街化調整区域の整備。			
	☐ ない								

コード	9835	事務事業名称	污水管渠整備事業				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			設計業務を広げてゆくことにより、各担当の設計・積算業務に即時対応できるよう図っていく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			設計業務を広げていくことにより、各担当の設計・積算業務に関する省力化と成果の向上を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
整備の要望が市民からある。									

所属長コメント	公共用水域の水質保全，生活環境の改善と衛生的な都市づくりを継続していくため，市街化調整区域の下水道整備と社会資本総合整備計画及び長寿命化計画により，計画的な整備を実施し，今後は市街化調整区域の下水道整備に向け取り組みを図る。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			設計委託を活用するとともに整備手法を研究し，効率的に事業を推進すること。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									